

教職員自己評価 概要・結果分析及び改善案

	概 要	結果分析	改善案
全体	昨年実施した30項目中27項目においてA評価であった。本年度追加した「業務改善」についての2項目はB評価であった。	本年度は市人研大会へ向け、特に人権学習の充実(話し合い活動も含め)に取り組んだ成果が認められる。また、全職員が児童理解に努め、担任以外の職員が子どもに言葉かけをしたり、よい行いを見つけて担任に知らせたりすることが日常的にできている。	
活用型学力	「家庭学習の手引き」や「話す力・書く力チェックカード」を活用して、学校・家庭が一体となって言語活動を充実させ、読書・俳句作りや全校的な体験活動を通して、思考力・判断力・表現力を育み活用型学力を向上させている。…A3. 4	保護者アンケート結果 肯定的評価 ○「教育活動」は全部の項目で94%以上が肯定的評価 ○「家庭学習の手引き」等で家庭学習を推進…94%(本年度努力点) ○家庭での学習習慣が身につけている…82% 児童のアンケート結果 肯定的評価 ○家での学習が毎日できている…93% 学校の取組が周知されていると考えるが、さらに家庭学習を習慣化させる取組が必要。	○家庭学習については、子どもと保護者の意識にずれがあるので、学級懇談や学級通信とで啓発を継続する。(目安の時間や内容、自主学習の推進等)
情報教育・外国語教育	本校は、教職員のICT活用能力や外国語指導力を向上させ、児童に主体的に学習に取り組む態度やコミュニケーション能力の育成を図っている。…B3. 1	情報教育支援員来校日には、どの学年もタブレットを使った活動を積極的に取り入れることができた。 外国語活動の時間はALTとコミュニケーションを図りながら楽しんで取り組んでいるが、児童がさらに主体的に活動できるよう工夫が必要。	○教師自ら理解を深めるためプログラミング教育の研修に積極的に参加し、プログラミングを学習活動の中に取り入れていく。 ○来年度から教科化される高学年外国語についての評価方法等について校内研修を行う。
自尊感情	本校は、「自分も大事・みんなも大事」を合い言葉に自尊感情を高め、教育相談体制を確立した地域ぐるみの人権教育を推進し、差別を許さない生活の徹底を図っている。…A3. 7	保護者アンケート結果 肯定的評価 ○思いやりの心が育っている…98% ○自分にはよいところがあると思っている…95% 児童アンケート結果 肯定的評価 ○自分にはよいところがあると思う…85% ○友達と仲よくできている…96% さらに子どもの自尊感情を育む必要あり。	○学校行事や集会等の運営を子ども主体でできるようサポートし、自信をもたせることにより、主体性や自主性を育てる。 ○子どもを賞賛する機会をより多くする。

生徒指導	<p>全職員あげて児童理解に努め、一人一人の適正・心情に寄り添い、児童の社会的自立を促進している。…A3. 8</p>	<p>保護者アンケート 肯定的評価 ○一人一人の子どもが大切にされ、認められる学校になっている。…98% 昨年比3%↑ 児童アンケート結果 肯定的評価 ○先生は、自分ががんばったことをほめてくれる。…97% 昨年比3%↑</p> <p>廊下の通り方はよくなってはきているが、依然として走ったり、騒がしかったりする。</p> <p>異学年班での清掃活動には意義があるが、掃除の仕方が徹底しにくい面がある。</p>	<p>○廊下の通り方を全職員が徹底して指導していく。(意義指導、できるまでやり直す等) ○異学年班(ぴかぴか班)清掃の分担や人数を見直す。 ○年度当初は学年毎で掃除の仕方を徹底して指導する。</p>
生活習慣	<p>「生活がんばりカード」を活用し、早寝・早起き・朝ご飯とあいさつ習慣の定着を中心に、食育と基本的な生活習慣の確立を図っている。 …B3. 2 <u>0.1p</u>↓</p>	<p>保護者アンケート結果 肯定的評価 「子どもの育ち」については全て81%以上 ○「生活がんばりカード」を活用し規則正しい生活を指導…96%(本年度重点目標) ○早寝早起きなど規則正しい生活ができていると答えた児童…82% ○子どもたちは早寝早起き朝ご飯の習慣が身についていると答えた保護者…81%</p> <p>○校内での挨拶は、よくできている。「こんにちは」等の朝以外の挨拶もできるようになった。</p>	<p>○地域の方への挨拶など、校外に出た時にも自分からできるように根気強く指導する。 ○挨拶をするのが当たり前になるまで、教師から徹底して声かけをする。 ○「早寝、早起き、朝ごはん」の大切さについて養護教諭から朝会時に話をしたり、学活で担任から話したりする頻度を増やす。</p>
体力向上	<p>縦割り班活動を中心とした子供同士のつながりを深め、自発的に動き・遊ぶ活動を通して、自分に合った体力の向上を図っている。…A3. 3</p>	<p>保護者アンケート結果 肯定的評価 ○学校は、健康な体力作りの充実を図っている。…94%</p> <p>児童アンケート結果 肯定的評価 ○進んで運動している。…91%</p>	<p>○休み時間の外遊びを継続して奨励する。 ○時間が許す限り教員も一緒に遊ぶ。</p>
学校行事	<p>「共通実践」本校は、学校行事は精選され無理なく実施できるように計画されている。…B 3. 2</p>	<p>昨年の意見を元に学校行事の実施時期や内容を見直した。 ・5月参観授業を6月に変更 ・11月地区防災訓練の日の参観授業をカットし、開・閉会式に全児童が参加するように変更</p> <p>保護者アンケート 肯定的評価 ○子どもは運動会・遠足・学習発表会などの行事に積極的に参加している。…99%</p> <p>児童アンケート結果 肯定的評価 ○運動会・遠足などの行事には進んで参加している。…99%</p>	<p>○学校行事が無理なく実施できるよう内容等を工夫改善していく。</p>

組織・運営	<p>「組織・運営」本校は、職員一人ひとりの意見が教育活動や学校運営に生かされている。…A3. 5 0.5p↑</p>	<p>○児童や生徒指導等についての共通理解をその都度とるようにした。 ○学校行事後に全職員にアンケートをとるなどして、振り返りの場をとった。</p>	<p>○共通理解→同一步調→反省・見直し→実践を継続していく。</p>
確かな学力	<p>「基礎基本」本校は、基礎・基本としての学力を身につけることができている。…A3. 3 「主体的学び」本校は学び方を身につけさせることができている。…A3. 3</p>	<p>保護者アンケート結果 肯定的評価 ○学校での学習を理解している…93%</p> <p>児童アンケート結果 肯定的評価 ○授業は分かりやすい…97% ○自分から考えや意見をしっかり言える…69% ○友達の見解をしっかりと聞いている…95% ○分からないことがある時質問…85% 学習内容の理解度には個人差があり、それに対応していくことが課題である。また、話す力を育てていく必要もある。</p>	<p>○さらなる授業改善 ・発表や話し合いの場を多く設ける。 ・子どもにとって切実であり、興味関心のある学習内容の工夫。 ○自分の考えや気持ちをありのまま表現できるような学級の雰囲気づくり</p>
道徳教育	<p>「道徳」本校は、道徳の時間の学習の成果が日常生活につながっている。…A3. 3</p>	<p>人権教育に関しては評価が高くなっていることから、道徳の多岐にわたる内容項目から判断しての評価結果ではないかと考える。</p> <p>保護者アンケート結果 肯定的評価 ○生命を大切に作る心や社会のルールを守る態度を育てようとしている。…96%</p> <p>児童アンケート結果 肯定的評価 ○生き物の命を大切に…97% ○安全に気をつけて生活…98%</p>	<p>○学習の成果が日常につながるような新指導要領に基づいた年間指導計画を立てる。 ○成果を評価できるような手立てを発達段階に応じて考える。</p>
業務改善	<p>自分は、業務内容の軽重を考えながら、効率よく職務を遂行できている。…B2. 9 自分は、ワークライフバランス(勤務時間)を意識して勤務することができている。…B3. 1</p>	<p>10月からタイムカードを導入することにより、出退勤時刻について各自が意識するようになってきた。 超過勤務状況を見ても、45～80時間の者は、10月－3人、11月－3人、12月－0人、1月－1人と減少傾向にある。</p>	<p>○一人一人の勤務状況を把握するとともに、管理職から継続してワークライフバランスを意識した勤務について声をかけていく。</p>

【学校関係者評価】

日時：令和2年3月2日（月） 18:00～19:00

場所：西麻植小学校 校長室

出席者： 学校評議員 4人 小学校教員 2人

*各委員からの提言・助言

- (1) 教職員自己評価：学校行事の精選と無理のない実施（B評価）について
11月の地区防災訓練の日の授業参観をなくしたが授業時数の方は大丈夫か。保護者の反応はどうだったか。→授業時数に影響はない。地域の方が一生懸命活動してくださっているので、子どもたちも開閉会式に参加させたいと考えた。保護者も、子どもと一緒に各ブースを回ってくれたので意義があったと考える。
- (2) 教職員自己評価：職員一人ひとりの意見が教育活動や学校運営にいかされている（A評価）について
昨年から0.5ポイントアップしているのは大変いいこと。職員にとってはありがたい、働きやすい職場であるということだろう。管理職には、引き続きお願いしたい。
- (3) 教職員自己評価：「生活がんばりカード」を活用し、早寝・早起き・朝ごはんをあいさつ習慣の定着を中心に、食育と基本的な生活習慣の確立を図っている（B評価）について
分析のとおり、学校外でのあいさつは、全般的にできていない気がする。
- (4) 教職員自己評価：業務改善（B評価）について
タイムカードはどのような形の者を導入したのか。→出退勤時刻を打刻し、勤務時間の累計ができるタイプ。職員は勤務時間を意識するようになってきた。
- (5) その他
 - ・ 国際理解の講座を実施してほしいとお願いしていた。5年生に明日国際交流協会を通じて留学生が来てくれる予定になっていたが、臨休措置により実現しなかった。来年も是非計画してほしい。
 - ・ （体験活動が減っているという保護者の意見を受け）確かに減っている。焼きいもなどの活動をお手伝いしたい。